

ほうこん

題字・清水英夫

GALAC・1月号・付録
2013年1月6日発行(毎月1回6日発行)
昭和43年3月8日第三種郵便物許可
〒160-0022
東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル2F
NPO法人放送批評懇談会
TEL (03) 5379-5521 / FAX (03) 5379-5510
ホームページ <http://www.houkon.jp/>
Eメール kondankai@houkon.jp
編集・橋本 隆

第50回上期ギャラクシー賞 各部門の選考終了

― 11月理事会報告 ―

2012年11月19日、11月理事会が開催された。

1. 委員会活動報告

◇出版事業委員会 飯田編集長

・2013年1月号最終の校正作業中。特集は「60年記念企画 テレビを語る書物たち」第50回上期ギャラクシー賞発表」。表紙は松平健さん。ザ・パーソンは汐見稔幸さん。急遽、志賀信夫さん追悼として8ページ増にした。

・2月号の特集「報道にとつて報道活動」とは何か」。表紙は斎藤工さん。ザ・パーソンはピーター・バラカンさん。

◇選奨事業委員会 藤久委員長 〈テレビ委員会〉 丹羽委員長

・10月25日に第50回ギャラクシー賞上期の選考を行って、7本の入賞作品を決定した。ドキュメンタ

リ、ドラマ、バラエティなど、バラエティに富んだ内容になった。(その後、選考過程の説明があった。詳細は「GALAC」誌1月号に掲載。入賞作品名も同様なので略します。他委員会も同様です) 10月30日に10月度の月評会を開催した。

〈ラジオ委員会〉 桜井委員長

・10月23日にドラマ部門、報道・ドキュメンタリー部門を、29日にワイド部門、音楽&エンタテインメント部門の選考を行い、8作品を入賞候補作品として選んだ。

例年上期の応募本数が少ないが、減少傾向にあるので、下期に向けて何らかの方法を委員会で話し合っていきたい。

〈CM委員会〉 五井委員長

・10月22日に定例会と上期選考会

を開催して13本の入賞候補作品を選出した。

昨年の上期と比べて参加本数は増えたが、今年の作品の傾向としては全体的に小粒の印象。子役が出てくる作品が多く、タレントCMは少なかった。

〈報道活動委員会〉 鈴木委員長

・11月3日に上期選考会を開催して、3本の入賞候補作を選出した。
・11月10日に「報道活動を見て、制作者と語る会」を日大で開催した。制作者が4名参加してくれて、内容としては非常に面白かったが、参加者が少なかったのが残念だった。

◇企画事業委員会 碓井委員長

・6日に委員会を開催して、春に開催するシンポジウムのテーマをローカル局の経営問題にした。タイトルは「ローカルパワーの創り方」で、会場は海運クラブ。日程は3月下旬を想定し講演者とのスケジュール調整を行う。

受講料は維持会員は1万6000円から1万5000円に、一般を1万9000円から2万円に改定する。正会員は5000円で変

更しない。時間は13時から17時の予定。基調講演、特別講演、シンポジウムの構成で、各地で行われている取り組みの成功事例、新たなビジネスモデルを紹介し、ローカル局の経営の参考になればと思っている。

シンポジウムの主な受講対象はローカル局の方ですかとの質問に、確井委員長からこれまでのシンポジウムのアンケートで希望が多いテーマだったので、テーマにしたとの返答があった。また、今回は学生の受講料は無料だったが、今回は今回はどうするのかとの質問には、まだ想定していないので、これから検討すると答えた。

今はNHKも地域放送局の活動が活発になってきているとの情報も提示された。

◇マイベストTV賞プロジェクト

滝野プロジェクトリーダー

・10月度の投票中だが、やはりジャニーズ関係の番組への投票が多い。
・(ギャラクシー賞の報告を受けて)今後は「語る会」の通知をWeb会員にもお知らせすればいいのではないか。

2. 50周年委員会報告

藤田委員長

①50周年出版、50周年式典、50周年イベント

・50周年の記念出版については掲載許諾をとる作業を進めている。返答の期限が17日で、許可の連絡を多くいただいているので一安心している。これまでの担当は久野明さんだったが、10月末から稲田雅子さんに変更。「連絡先のわからない方に関しては、ホームページで探していることを告知すればいいのでは」との意見があり、藤田委員長からは11月末で連絡が取れなければホームページに掲載して、年内に解決するようにすると答えた。

・50周年記念賞は正会員と選奨事業委員会の各部門からの推薦を11月末まで受付中。

・50年を振り返ったイベントの会場は千代田放送会館に決定した。日程は6月22日、29日(土)が9時から21時まで、23日、30日(日)が12時から21時までで、2、3時間の枠が10個程度取れる予定。ぜひ各部門からアイデアをいただきたい。

CM部門はこれまで選出したギャラクシー賞一挙上映を予定。

・また、50周年のマスコミへの発表時期のタイミングについては前振り、発表についてはこれから考えていく。

②トロフィー、賞状

橋本専務理事

トロフィーは進展なし。

③データベース

川喜田理事

今週から各局への許諾作業を開始する。

3. その他

①志賀信夫さんをしのぶ会の件

12月8日に日本プレスセンターで開く。案内は明日発送の予定。

②入会・退会

〈入会〉

・正会員 西川博泰さん

③日本映像事業協会「ヤング映像クリエーターを励ます賞」後援依頼

・中島事務局長より内容説明↓了承。

④その他

・事務局員の高橋秀樹さんが11月で退職することになった。新しく編集業務を主に担当する廣保里栄さんと、事務局業務を主に担当する進藤朝美さんとパートタイマー契約を交わした。

次回以降の理事会

12月14日（金）

1月28日（月）

〔出席〕音好宏、橋本隆、上滝徹也、小田桐誠、藤田真文、飯田みか、藤久ミネ、碓井広義、丹羽美之、桜井聖子、五井千鶴子、鈴木嘉一、滝野俊一、入江たのし、川喜田尚、小林毅、坂本衛、嶋田親一、田中早苗、中町綾子、稗田政憲、中島好登

会議記録

〔11月〕

（選奨）報道活動選考会

3日 企画事業委員会

6日 50周年委員会・50年史

8日 （選奨）CM定例部会

14日 理事会

19日 出版編集委員会

20日 （選奨）ラジオ定例部会

21日 （選奨）テレビ月評会

26日

選取肢の多さのために

内田雄一

新聞協会メディア開発委員会を担当しています。新聞・通信社の立場から放送業界を注視し、様々な第一人者から話を聞くなどして、業界の動きを追いかけいています。

仕事で講演をお願いしようと音好宏さんに連絡したところ、「講演を引き受けるバーター」ということで、企画事業委員会に誘っていただきました。

わかりもしない柄谷行人を読みながら「批評家になりたい」と夢見た学生時代を思い出すと、自分が放送批評懇談会に入れたこと自体が不思議です。

選取肢があることが民主主義には重要だと考えます。若者の新聞離れ、テレビ離れなどと言われますが、それでも新聞、放送が日本の言論・民主主義に与える影響は、まだまだ大きいのです。選取肢の多さ、言論の多様性、極論すら論としては受け入れる寛容さ。これらのために放送批評懇談会の活動を通じて貢献できればうれしいかぎりです。どうぞよろしくお願いします。

新入正会員自己紹介

日本を海外に伝えたい！

小西晴子

CS放送局アジアドラマチックTVで編成と、ドキュメンタリー制作をしております。土本典昭、黒木和雄、原一男氏他のドキュメンタリストを追ったシリーズ、イラク戦争下での市民の生活を描いた「Little Birds」などを企画・制作して参りました。

今、岩手県大槌町に通っています。三陸の豊かな精神文化、「自然とともに生きる」精神に、魅かれていきます。2011年8月に訪れた時、「防波堤は要らない。海が見えない生活は考えられない。高台に住宅を建て、逃げればいい」と多くの住民が言い、その言葉に驚愕しました。しかし、自らの脅威を抑えるのではなく、その脅威も含めて、共に生きる精神、そこから生まれた助け合いの精神が、厳しい状況をかろうじて支えていることに気付いてきました。宅地の着工は来年、海水温の上昇で、売上の柱であるサケもとれない。しかし、自然と生きる知恵は、病を抱えて、墜落しそうな「宇宙船地球号」を生かす知恵であるとも思っています。

日本のテレビ番組を海外へ！

吉田敏江

12月号の特集「世界のテレビ賞に挑め！」でご紹介頂きまして御礼申し上げます。

ローカル局さんとの関係をより深め海外のアワードへもっと挑戦できるお手伝いをしたいと思っております。思えば生まれた時からテレビ・ラジオに囲まれた環境でした。実家は農業機械と家電を扱う商売をしておりショールームではいつもテレビから番組が映し出され、ラジオからは歌が流れていました。ちびっこタレント並みに歌が上手いと褒められ店のショーウィンドウの前でポーズをとって歌っているようなおませな子供でした(笑)。

大学を卒業後はテレビとラジオでマイクを持って駆け回り、人生のパートナーと出会った後は海外へ番組を紹介するビジネスを始めていました。気が付けばずっとテレビとラジオに囲まれています。

海外出張先でも必ずテレビを付けてその国の番組を楽しむのですが次の日の会議ではあくびを抑えるのに必死になります。

GALAC「TV BEST&WORST」原稿募集中！

★正会員の皆さま、ご家族、お知り合いの方の投稿をお待ちしています！

<投稿ルール>

- 1) 2012年11月のテレビとラジオ番組(地上波、BS、CS、ケーブル、AM、FM、短波など日本で視聴できる番組すべて)から3つ選び、自由に論じてください。
番組名の頭に○(良い) ×(悪い) マークを忘れずにつけてください。
- 2) 本文は25字詰め12行でご執筆ください。
お名前とふりがな、職業、年齢(なくてもOK)もお忘れなく。
- 3) 原稿締切は12月11日(火)です。
- 4) 匿名原稿は受け付けません。
掲載の決定は編集部にお任せください。
原稿の返却、採用・不採用の問い合わせには応じることができません。また、原稿は趣旨を損なわずに手を入れることがあります。
- 5) ご応募くださった方には、もれなく GALAC1冊お送りいたします。また、採用の方には、謝礼として1000円分のクオカードを進呈いたします。
- 6) ホームページ、郵送、ファクスで受け付けます。

宛先 〒160-0022 東京都新宿区新宿5-10-14 中村ビル GALAC編集部
ホームページ <http://www.houkon.jp/galac/toukou.html>
FAX 03-5379-5510

☆ギャラクシー賞マイベストTV賞☆ 2012年11月度の投票も始まりました！

ギャラクシー賞マイベストTV賞2012年11月度作品の投票を開始します。

正会員の皆さまには、メール、ファクスで改めてお知らせします。

正会員の皆さまのご参加をお待ちしています！

マイベストTV賞 携帯サイト、オープン中！
投票はこちらからもできます

<http://www.houkon.jp/m>

